



ブラザーグリーンラベル認定基準(Ver.2.2)



ブラザー製品は、製品環境アセスメントおよびLCA評価の実施と、ブラザーグループ特定化学物質基準への適合を前提としています。その上で、ブラザー工業株式会社では2001年10月に、製品における環境配慮について国際規格であるISO 14021および日本工業規格JIS Q 14021に準拠した自主基準「ブラザーグリーンラベル基準」を設けました。自社グループで製造し、日本で販売し、かつ第三者認証規格がないすべてのブラザー製品を対象に、その基準を満たしていることを示す環境ラベル「ブラザーグリーンラベル」制度を運用しています。

この制度では、新規に開発した製品のうち、26項目中5項目以上において基準を満たす製品、あるいは5項目未満でも著しい環境改善効果があった製品を「ブラザーグリーンラベル」基準適合として認定しています。また消耗品のうち、26項目中3項目以上において基準を満たす消耗品を基準適合として認定しています。

項目
1. 業界トップレベルの省エネ性
2. 単位性能当たり、従来機種比で大幅に改善された省エネ性 ^{*1}
3. 高い再資源化可能率(熱的利用を除く) ^{*2}
4. 再生プラスチックの使用
5. プラスチック材質の統一化
6. 小型・軽量化 ^{*3}
7. 樹脂部品への材質表示
8. 樹脂部品へのコーティングを回避
9. 生分解性プラスチックの使用
10. 部品リユースのシステムを構築した商品
11. 包装材における材料の削減 ^{*4}
12. 包装材における環境負荷の小さい材料や再生材の使用、かつ有害物質の非含有
13. 製造時における環境負荷物質の削減 ^{*5}

14. 環境ラベル(タイプ I またはタイプ III)の取得
15. 長期使用性(性能や機能が拡張できる構造)
16. 消耗品または部品の寿命を向上^{*6}
17. 保守・修理の可能性・容易性を大幅に向上^{*7}
18. 製品・梱包サイズを考慮し、運搬時の積載効率を向上^{*8}
19. 分離・分解箇所のビジュアル表示または構造改善により分解性を大きく向上
20. 大型樹脂部品の材料を二種以下に統合
21. グリーン調達基準レベル B の一物質以上を回避
22. 設計段階で、製造段階を考慮し環境負荷量を大幅に削減^{*9}
23. 長期使用のための情報提供を大幅に強化
24. 製品 LCA 評価で環境負荷を大幅に削減^{*10}
25. 部品・ユニットの共通化^{*11}
26. 業界初、または当社独自技術により、環境配慮性が客観的に評価できるもの

*1: 従来機種比で 30%以上削減

*2: 当社算定基準において、事務機器・家庭用ミシンは 85%以上、電子文具は 80%以上、産業用機器は 90%以上

*3: 体積または質量において、従来機種比で 30%以上を削減

*4: 包装材利用率(包装材質量÷製品質量)において、従来機種比で 5%以上を減量化

*5: 質量において、従来機種比で 80%以上を削減

*6: 従来機種比で 50%以上向上

*7: 従来機種比で概ね 30%以上向上、またはこれまで修理ができなかった部品を修理可能にした製品

*8: 従来機種比で 5%以上向上

*9: 同一環境負荷カテゴリーで従来機種比 10%以上削減

*10: 従来機種比で 10%以上改善

*11: 他機種・他製品との共通化